

- 施政方針演説特集
- 【美しや】 やすらぎ、くらし
- 【結い】 はぐくむ、いきがい
- 【世ば糺れ】 にぎわい、ふれあい
- 八重山博物館35周年
- 石垣市台風被害へ義援金支給
- ロマンメッセージ
- 市民カレンダー

人口と世帯数	
総人口	47,967 (-2)
男	23,940 (-11)
女	24,027 (+9)
世帯数	20,917 (+24)

(平成20年2月末日現在)

石垣市ホームページ <http://www.city.ishigaki.okinawa.jp>

平成19年度赤土流出防止に関するポスター・標語に入賞した11人の児童生徒(市役所庁議室)



〔標語の部〕中学生最優秀賞 椿久瑠実(石垣第二中2年)  
「未来に残そう青い海みんなで取り組めSTOP THE 赤土」



【ポスターの部】中学生最優秀賞  
深谷初音(石垣第二中1年)

〔標語の部〕小学生高学年最優秀賞 時田華絵(宮良小6年)  
「月桃で赤土とめてきれいな海花までさいて美ら島の海」



【ポスターの部】小学生最優秀賞  
砂川彩香(八島小6年)





# 平成20年度 施政方針

～市民協働のまちづくりのために～

## はじめに

陽光うららかに草花も芽吹き、すべての命あるものが躍動する快い季節を迎え、私たちは今、新たな歴史のページを刻みはじめています。本日、平成20年第2回石垣市議会定例会の開会に臨み、平成20年度予算案並びに関連諸議案のご審議をお願いするに際し、市政運営に関する私の所信の一端と主要施策についてご説明申し上げ、市民皆様をはじめ市議会議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年は、本市が市制を施行して60周年を迎えた節目の年でありました。市民の皆様とともに本市のこれまでの歩みを振り返りながら、幾多の苦難を乗り越え、営々として広くアジア・太平洋に開かれた国境の都市としての礎を築いてこられた先人に遠く思いをはせ、感謝申し上げるとともに、改めて郷土いしがきの魅力とその限りない可能性を再確認し、将来のまちづくりに大いなる夢を描くことができた一年であったと思います。

私自身も様々な催しの中で、子どもたちからお年寄りまで多くの方々から、いしがきのまちづくりに寄せる熱い想いにふれ、深く感動し、次世代にしっかりとバトンタッチのできるまちづくりを進めるために、さらに努力し続けなければならぬことを実感した一年でありました。

併せて、新空港開港までの向こう5年間に展望するとき、地域振興への大いなる期待と同時に、開港を見据えて解決を求められている諸課題に取り組むべき極めて重要な時期であるとの認識を深めることもできました。

豊かな自然環境や優れた景観を市民が共有する財産として未来永劫にわたってしっかりと保全することを何より優先しつつ、法規や条例に基づく規制誘導の徹底、あるいは持続可能な振興発展を支える施策・計画などの仕組みづくりや人材育成、新しいものづくりなど、市民皆様と密接に連携しつつ、スピードと機動力をもって対応しなければならぬ課題が山積しています。



石垣市長 大濱長照

全国的に地域間格差の拡大が伝えられるなか、本市はここ数年、多くの市民の創意と工夫に満ちたまちづくりによって人口も増え、市民長年の悲願であった甲

子園出場、新石垣空港着工、光ファイバー敷設、国立公園指定など、明るい話題が相次ぐ元気なまちとして全国的に注目を集めています。

来る5月には九州各地の市長が一堂に会する「第百二回九州市長会」が本市で開催されることから、開催市として有意義な会合の開催に努めるとともに、この機会に日本最南端の自然文化都市いしがきをご覧いただき、まちづくりについて意見交換をしてまいります。

さて、本年は、市民が長らく夢みてきたプロ野球球団の春季キャンプが実現いたしました。「千葉ロッテマリーンズ」の一軍キャンプ実現の要因は、大嶺祐太投手の入団を契機として、ぜひ石垣島へキャンプを誘致したいという市民皆様の熱い想い、併せて日本最南端の温暖な気候がもたらす恩恵、屋内練習場の完成や関係施設の整備面についての対応が球団側に高く評価され、ご理解いただいたもので、まさしく市民と行政の協働、タイアップが総合力を発揮し、功を奏したものであると考えます。

キャンプの経済効果はもとより、マスメディアを介した石垣島のPRなど、地域活性化に大きく貢献することが期待されますが、何よりも地域の子どものたちにとってプロ野球選手とふれあい、間近で一流選手のプレーに接する機会が実現したこと、子どもたちに「夢は必ず叶う」という新しい時代の到来をしっかりと伝え、併せて来季以降のキャンプ継続確定という新たな夢を与えられたことを最大の喜びとするところです。



申し上げるまでもなく地球規模で環境やエネルギー問題が深刻さを増し、国内でもかつて経験したことのない超高齢社会を迎え、年金、医療など社会保障や税財政など国民生活の根幹に関わる諸制度改革が重要な課題となっています。少子化の進展や人口減少社会の到来、格差拡大等地方の様々なひずみ、第2期地方分権改革や道州制の加速など、変革の波はとどまるところを知らず、それと相反するかのように地方財政は逼迫し、市民生活には安心・安全のまちづくりが求められています。地方が直面する課題はあまりに多く、このような中で平成20年度を迎えることとなりました。まさに地域ごと、自治体ごとの自治能力の真価が問われる時期です。

取り組むべき課題は複雑多岐にわたり、加えて原油高や輸入穀物等の高騰、地球温暖化を背景とする国内外の諸情勢、様々な変動要因など、離島県の離島にあって時として強い逆風も覚悟して臨まねばなりません。こうした厳しい環境にあって、置かれた現状を見極め、市民皆様の英知を結集し、本市の進むべき方向を確かなものとするところこそが市民皆様から負託を受けた私に課された責務であると考えます。先人が築いた礎のうえに、さらに石垣市を発展させ、明日の時代を担う子どもたちに自信と誇りを持てるまちづくりを進めるべく、市民皆様とともにその先頭に立ち、最大限の努力を傾けてまいり所存であります。

次に、平成20年度の主要施策について、ご説明申し上げます。

## 1. やすらぎ

### 自然と共生するまちづくりのために

本市は、先人が残した豊かな自然環境や景観、歴史や伝統文化など貴重な遺産を受け継いでおり、これらを次代に引き継ぐことは、私たちの責務です。この豊かな自然環境の保全を前提に、自然と社会経済活動が調和した地域振興、環境共生型社会をめざしてまいります。

昨年は、石垣島周辺のサンゴ礁や於茂登山系、北部地域など良好な自然環境を有する地域について、念願の国立公園指定が実現いたしました。このことは、本市の優れた自然環境が全国的に高く評価されたものであり、誠に喜びにたえません。本年は国際サンゴ礁年でもあり、引き続き関係機関と連携し貴重な自然を守りはぐくむとともに、市民への啓発活動を進めてまいります。

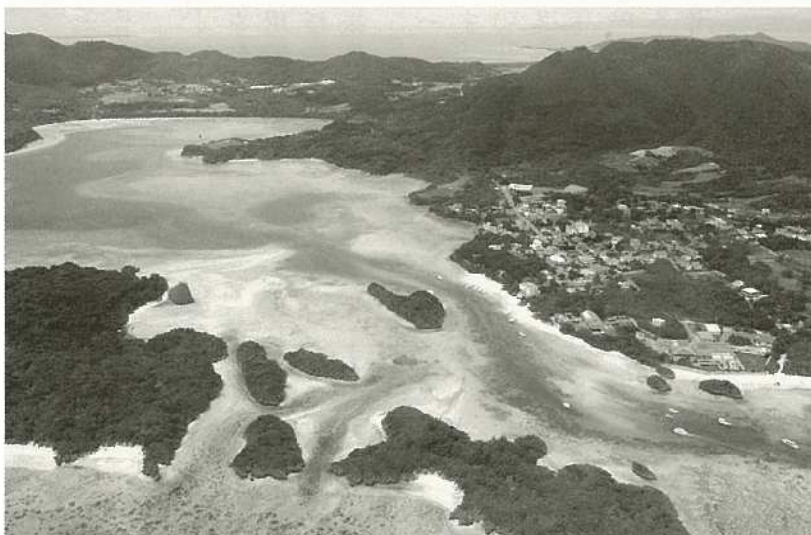
赤土等の流出防止については、これまでの継続的な取り組みと市民意識の高揚もあいまって流出が抑止されつつあります。周辺海域への負荷を減少させるため、引き続き、流出防止対策を推進する農家を支援するため、緑肥作物の栽培やグリーンベルト設置への助成を行うなど農家の理解と協力を得つつ、地域一体となった取り組みを進めてまいります。

景観形成については、本市固有の歴史的・自然的景観は、私たちの暮らしに潤いを、来訪者にはやすらぎを与えるかけがえのない財

産であり、これらを保全、創出し次代へ引き継ぐことは私たちの責務です。

本年度は、風景づくり条例及び風景計画の実効性をより高めるための行動計画として風景づくりアクションプランを策定するとともに、川平地域の景観地区指定を進めてまいります。

また、地球温暖化防止については、環境負荷を小さくする地球にやさしい職場づくりのため、「石垣市地球温暖化防止実行計画」を推進し、併せて市民、行政が一体となって取り組むためマイバッグやエコドライブなどの普及啓発に力を入れてまいります。





## 2. くらし

### く快適で魅力あふれるまちづくりのためにく

新石垣空港の建設については、昨年から本格的な用地造成工事が実施されており、本年度はさらに大規模な工事が予定されるなど平成25年3月の供用開始へ向け着実に進捗しております。

本市としても、県や関係機関との連携を密に残された用地の着実な取得に努めるとともに、ターミナルビルの建設・運営については、地域の意向が反映されるよう第三セクター方式を基本とするよう提言してまいります。併せて、周辺地域の振興策に取り組みなど事業の円滑な推進に全力を注いでまいります。

現空港の昨年の乗降客数は192万人、取扱貨物量は1万8千7百トンを記録しており、乗降客数及び貨物取扱量ともに全国第三種空港の中でも大都市圏に位置する神戸空港に続き堂々の第2位を占めております。今後とも航空需要の増大が予想されることから、新空港の供用開始までの間、引き続き利用者の利便性、快適性、安全性の向上に努めてまいります。

また、現空港に整備されたC・I・Q（税関、出入国、検疫）施設は、昨年、台湾のチャーター便就航など2千人余の乗降客が利用しており、引き続き旅客誘致を積極的に進め、新空港開港時には実質的な国際空港化が実現できるよう努めてまいります。

一方、港の活性化は中心市街地を含む地

域振興に大きく貢献するものです。本年度も引き続き、離島桟橋の機能充実を図るため、屋根付き歩道等の離島ターミナル周辺施設を整備し、乗降の安全性や利便性の向上を図ってまいります。

また、昨年は国内外からの大型クルーズ船により約3万人の観光客が入域しました。今後、寄港の増加が見込まれるため、防波堤や岸壁、臨港道路の整備を継続して進めるほか、新港地区におけるエネルギーパスや人工海浜等の整備を関係機関と連携して推進するなど機能拡充に努めてまいります。

次に、道路整備については、幹線道路の商工南通り線の竣工に向けて取り組むほか、川平2号線の整備を引き続き進めるとともに、市民生活に密着した生活道路の整備を推進し、地域交通の利便性向上を図ってまいります。

また、都市計画街路については、引き続き気象台西通り線・商工西通り線及び二中北通り線の整備を進めてまいります。

情報通信については、大都市圏との格差是正や市民生活の向上・雇用創出など地域活性化につながるものであり、一層の取り組みが求められております。このことから、昨年より北部地区の高速大容量通信環境の整備を進めてまいりました。事業の完了により

IT社会の基盤が本市のほぼ全域で整うこ

とになり、その利活用が大いに期待される場所であります。

また、昨年は「石垣市―IT事業支援センター」を開設し、5企業の入居と50人余の雇用の増加が見込まれており、誘致企業の積極的な支援を図るなど本市―IT関連産業の振興に取り組んでまいります。

先島地区地上デジタル放送及び未放送の一部民放テレビの早期受信については、これまで国・県等関係機関に強く働きかけてまいりましたが、いよいよ、本年度、県及び放送事業者によって整備が実現されることになりました。本市としては、来年4月までの段階的なサービス開始へ向け市民への周知を図るなどアナログから地上デジタル放送への円滑な移行を推進してまいります。

都市計画については、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保するという基本理念を踏まえ、本年度は、フルスト原遺跡とその周辺地域を都市計画における公園として位置づけるとともに、南大浜（はいほーま）地区における適正な土地利用を推進するため地区計画等の都市計画決定に取り組んでまいります。

これら都市計画の決定及び変更と並行して、当初計画決定以来、年以上が経過している本市都市計画を良好な居住環境の保全と経済活動の調和を基本に社会経済情勢の変化を踏まえた計画として全体的な見直しを図るため、都市計画マスタープランの改定に着手いたします。



さらに、現空港跡地利用についても本市の都市骨格やまちの利便性をさらに向上させるべく基本計画を策定し、国や県へ理解が得られるよう働きかけてまいります。

都市公園については、市民生活の快適性を確保する上で不可欠な空間として多様な機能が求められています。

昨年は、屋内練習場の建設や陸上競技場の全天候型への改修等中央運動公園の施設を充実強化いたしました。本年度は、プロ野球球団のキャンプ地にふさわしい機能を備えた施設とすべく市営球場の全面改修に着手します。

また、川平風致公園については、観光振興の拠点となる公園として整備を継続するほか、真栄里公園についても、事業完了へ向け引き続き整備を進めてまいります。

なお、市営住宅については、これまで地域パランスに配慮しつつ、18団地130戸を整備してまいりました。現在建設中の白保、大里及び星野の戸数を合わせると146戸が供給されることとなります。本年度は、平久保第二住宅の完成へ向け取り組みを進めるほか、新たに嵩田住宅の整備に着手いたします。

水道事業については、清浄にして豊富、低廉な「安全でおいしいいしがきの水」の安定供給を図るため、水資源の確保、水質の保全、湧水対策などに努めるとともに、水道料金の見直しも視野に入れつつ経営の効率化を進めてまいります。

本年度は、新牧中配水池を整備するとともに、新石垣空港への送水管及び配水管を布設するほか、老朽管の布設替えを引き続き実施いたします。

公共下水道は、健康で快適な生活環境の確保はもとより、河川や海域の水質保全を

図るため重要な役割を担っております。引き続き未整備地区の管渠布設を推進するとともに、施設の維持管理の効率化を図るほか、供用開始地区については、下水道の機能や役割を積極的に啓発し、接続率の向上に努めてまいります。

また、本年度は、浸水対策下水道の事業認可に向けた計画策定に努めるほか、川平地区における処理場機能を拡充するための取り組みを進めてまいります。

資源循環型社会を構築するためには、ごみの減量化とリサイクルの推進が不可欠であることから、これまでごみの有料化と分別を実施してまいりましたが、人口増や経済の活性化等もありまして搬出量は微増傾向を続けております。

本年度は、これまで不燃ごみであった廃プラスチック類を資源ごみとして分別収集するなど収集・処理体制を再構築し、総量の抑制と再資源化意識の高揚を図り、クリーンセンター及び最終処分場のさらなる延命化に努めてまいります。

不法投棄対策については、良好な景観の維持と豊かな自然環境の保全を図るため、関係機関や市民と連携し散乱ごみ防止の取り組みを進めるほか、国が実施する漂流・漂着ごみ削減のためのモデル調査についても継続して協力してまいります。

交通安全・地域安全対策については、引き続き、飲酒運転の根絶や防犯など市民意識の高揚に努めるとともに、シルバーモーニングサービス等の地域の自主的安全活動を支援するなど、交通事故や犯罪のない安心・安全なまちづくりを推進してまいります。

次に防災対策について申し上げます。相次ぐ大型台風の直撃を受け農林水産部門を

はじめ経済産業活動へ多大な損害を被りました。今後も地球温暖化の影響により台風の強大化が予想されることから、迅速かつ適切に対応していく体制を整えることが重要であり、自助・共助・公助を基本にあらゆる場面を想定した地域防災・減災対策を進めてまいります。

引き続き、被災した住民の復興支援対策の充実や負担軽減に努めるとともに、要援護者・観光客の避難誘導など民間企業や関係団体との協力体制づくりを推進するほか、市民の防災意識の啓発及び情報提供の迅速化を図ってまいります。

消防行政については、自主防災組織の育成及び組織率の向上や消防団組織の強化など、常備消防と一体となった組織づくりを努めるとともに、消防資機材整備の一環として消火栓を新設するほか、年々増加する救急業務に適切に対応するため救急救命士の養成に努めるなど消防力の充実・強化を進めてまいります。

また、消防救急無線のデジタル化移行へ向けた取り組みを継続して進めるほか、消防庁舎の早期整備に向けて各種課題の解決に努めてまいります。





## 3. はぐくむ

## 人と文化を大切にすまちづくりのために

はじめに、学校教育について申し上げます。基礎学力の向上については、「早寝・早起き・朝ごはん」運動の展開による健全な生活習慣の形成を基調に家庭学習等の習慣化を促進し、各学校において「全国学力・学習状況調査」の結果分析にもとづいた学習指導の改善や夏休み期間中の「基礎基本強化学習会」の実施など、より一層の取り組みを推進してまいります。

国際化及び情報化への取り組みとしては、小学校において外国語指導助手を配置し、英語活動を通じたコミュニケーション能力の向上や国際感覚の醸成に努めるほか、情報化社会の進展に対応すべく情報機器等を充実するとともに、情報セキュリティ向上のためのネットワークを構築するなど情報モラルの育成を主眼に情報活用能力のかん養に努めてまいります。

また、障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに応じて、教育支援ヘルパーを派遣するなど特別支援教育を推進いたします。

学校施設の整備については、本年度、宮良小学校体育館を改築するほか、あまかわ幼稚園園舎を現敷地から八島小学校の敷地内へ移転整備し、安全・安心でゆとりある学習環境の整備を図ってまいります。

なお、少子化の進行が学校運営や教育効果などにも大きな影響をもたらしていることから、幼稚園・小中学校での教育効果を高めることを目的として、地域住民等を対象に

学校適正規模・適正配置のための意見交換会等を実施してまいりました。本年度は、これまでの経緯を踏まえ、西部地区の再編統合に向け具体的な作業を進めるほか、幼保一元化のため制度化された認定こども園についても調査を進めてまいります。

青少年の健全育成については、不登校児童生徒の登校支援をはじめ、子どもたちが多様な人間関係を体験し、豊かな人間性を形成できるよう関係団体や地域と連携し夜間街頭指導を実施するなど健全な環境づくりを推進します。

学校給食については、関係機関や生産者と連携し地元食材の活用を促進するほか、栄養のバランスに配慮するなど給食を生きた教材として活用する食育を進めてまいります。

現在、市民の生涯学習に対するニーズはますます多様化しており、感性豊かな人材を育成するためにもその充実が求められております。引き続き、各種講座を展開するとともに市民の学ぶ場として放送大学の視聴機能の充実に努めてまいります。

次に文化の振興について申し上げます。本市は、伝統的な文化活動を推進するほか、有形・無形の文化財の保護と利活用を進めるなど文化の薫り高いまちづくりに努めてまいりました。本年度も恒例の「とうばらーま大会」を実施するほか、「宮良長包音楽祭」を開催するなど市民の文化水準の向上に努めてまいります。併せて、権現堂の保存修理事業

の完了に努めるほか、フルスト原遺跡の保存整備を継続して進めてまいります。

博物館については、新収蔵品等の展示をはじめ、郷土の歴史と文化への理解を深めるためにも博物館教室や博物館体験講座を実施するなど地域の特長を活かした運営に努めてまいります。

市立図書館については、郷土資料や児童書等の幅広い資料収集により、市民の読書活動の活性化を推進するなど地域の情報拠点として利用者のサービス向上に努めてまいります。

市史編集事業は、歴史・文化や自然に関する資料を収集、整理、記録することにより、貴重な財産として後世に引き継ぐものです。本年度は、「石垣市史叢書」や「石垣市史考古ビジュアル版」などの編集・発刊作業を継続して進めるほか、市民から増刷要望のある図書の刊行を進めてまいります。

スポーツ・レクリエーションについては、各種スポーツ教室の開催や競技大会の実施など参加会の拡充を図るほか、健康づくりの一環としてその普及支援に努めてまいりました。

日本最南端の市民マラソン「石垣島マラソン大会」は、広く本市をPRできるイベントに成長しており、今後とも市民ジョガーの底辺拡大と全国からの参加を募るなど一層の発展に努めてまいります。

スポーツキャンプについては、温暖な気候や充実した施設など各種スポーツのキャンプ地としての有利性を活かし、陸上はもとより野球やサッカーをはじめプロ・アマ、実業団あるいは学生等、競技やチームの種別を問わず、キャンプを積極的に誘致するなど市民スポーツの



普及や全国への情報発信に努めてまいります。  
引き続き、トライアスロンワールドカップ石垣島大会・石垣島トライアスロン大会を開催してまいります。

#### 4. いきがいの健康で喜びあるまちづくりのために

少子・高齢化社会にあって、すべての市民が健康で明るくいそがいにみちた健康長寿社会づくりが求められております。このため、健康福祉センターの機能を十分に活用するなど、健康都市いしがきづくりを推進してまいります。

本年度は、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸のための健康教育を推進するほか、引き続き、婦人がん検診や胃カメラによる胃検診などの各種検診業務を進めてまいります。

国民健康保険事業については、本年度から40歳から74歳までの被保険者を対象とした特定検診・特定保健指導が、医療保険者に義務づけられたことから、制度の円滑な実施に取り組むなど保健事業を充実強化してまい



ります。併せて、医療費と受診の適正化に努めるとともに、収納率向上の取り組みを積極的にに行い、健全で安定的な事業運営を推進いたします。

また、医療制度改革に伴い、これまでの老人保健制度が廃止され、75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療制度が本年4月より開始されることから、運営主体である広域連合との密接な連携を図るため、本市職員を派遣するなど適切な業務の遂行に努めてまいります。

介護保険制度については、サービス利用者数及び利用実績ともに増加傾向にあることから、予防を重視した施策を展開してまいります。本年度は、保険料の見直しを主眼に第4期介護保険事業計画の策定に取り組みほか、在宅サービス、施設サービスを継続して提供するなど、持続可能な事業運営に努めてまいります。

また、高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、継続してシルバーパス事業を実施するほか、老人クラブやシルバー人材センターの主体的な取り組みや老人福祉センターを拠点とした活動を積極的に支援するとともに、高齢者向けの市民農園を開設するなど、高齢者福祉の充実を図ります。

障がい者福祉については、障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの推進や障がい者団体及び小規模作業所の育成支援による就労の促進など障がい者自らの選択や決定による地域での自立した生活を支援するとともに、ノーマライゼーションの理念実現に向け、障がい者への理解と地域支援の輪を広げてまいります。



児童福祉については、人との関わりや結いの心の希薄化など家庭や児童をとりまく環境も変化しており、子育ての喜びを実感できない社会の実現が求められております。

本年度は、来年4月の開園に向けて登野城団地内に認可保育所を創設し、待機児童の解消に努めるとともに、川平保育所の移転に伴う保育環境整備や認可外保育施設への助成を継続し、新たに主食費補助を実施するなど保育の充実を進めてまいります。

併せて、子育て支援センターの充実を図るとともに、多様化する就労形態に対応するため、延長保育や放課後健全育成など子育て家庭のニーズを踏まえた事業を実施してまいります。

児童虐待の防止については、児童虐待防止ネットワーク協議会を要保護児童対策地域協議会へ移行することにより、関係機関の連携をさらに強化し、問題事案の早期発見や予防的対応を推進してまいります。

また、配偶者等からの暴力や家族関係で悩む女性の支援・保護に関係機関と連携して推進するなど問題解決に取り組みます。

母子・父子福祉については、ひとり親家庭の子育てと仕事の両立を支援するなど、生活の安定と自立を促進するとともに、医療、教育、福祉等との連携により、心身ともに健やかな児童の育成に努めてまいります。

生活保護については、世帯数・人員ともに増加傾向にあり、社会のセーフティネットとして生活困窮者の経済的支援に重要な役割を果たしております。引き続き相談業務や保護の適正実施に努めるなど被保護者の自立助長を支援してまいります。

## 5. にぎわい

### ～多彩で活気あるまちづくりのために～

本市では、地域のポテンシャルを活かした自立型経済社会を実現するため、地産地消の推進やいしがきブランドの構築・産業振興を担う人材育成など活気あるまちづくりに努めてまいります。

特に、地域ブランド戦略については、地域域の力で地域の財産となる新しいものづくりを推進するため、本市プロデュースの「つんだみブランド」など、いしがきの持つ多彩な魅力に創意工夫で新たな付加価値を創出する取り組みを支援してまいります。

はじめに、農林水産業について申し上げます。本市の地理的特性を考えるとき、亜熱帯の優位性を活かした第一次産業の振興が重要であります。この観点から、いしがきブランドの確立に向けた産地形成を進めるべく、技術開発や流通加工体制の充実など生産から販売まで、あらゆる過程での取り組みを推進いたします。

農業生産基盤については、引き続き農業用

水の確保を図るため、畑地かんがい施設や排水路等の整備、基幹水利施設の機能維持に努めるとともに、神田地区等の農道整備を進めるほか、北西部地域の活性化を図るため「中山間地域総合整備事業」により、農道や集落道等の整備を推進いたします。また、吉原地区における新規事業として既設かんがい施設の再整備に着手いたします。

また、これまで国営かんがい排水事業や県営かんがい排水事業で整備された地域を含む石垣市全域を対象とする農業用水の再編整備を進めるための構想策定に向けて、関係機関と連携し取り組んでまいります。

宮良川、名蔵川、大浦川の3つの土地改良区については、合併に係る諸手続きを終え、本年4月から石垣島土地改良区として再スタートいたします。引き続き、合併の理念である経営の安定と財政の健全化に向けた積極的な取り組みを支援してまいります。

同時に、基幹作物のさとうきびをはじめ葉たばこ、水稲、野菜、果樹等の計画的・安定的な生産を推進するとともに、戦略的品目として拠点産地の認定を受けたパインアップル、オクラ、花卉（ヘリコニア、ジンジャー）の生産拡大を図るなど農産物の産地産地消拡大はもとより、島外消費地への流通販売を促進してまいります。

なお、国は効率的かつ安定的な農業経営へ施策を重点化しており、すべての生産者が国の政策支援の対象となるよう認定農業者や農業生産法人等の一定の要件を備えた担い手農家を育成支援するとともに、作業の機械化一環体系を推進してまいります。併せて、関係機関と連携し認定農業者などへ





土地の集積を促進することにより、遊休農地の解消に努めるほか、農業用施設の整備を図るなど農業経営基盤の整備を進めてまいります。

また、昨年、総合見直しが確定した農業振興地域整備計画に基づき、農用地の保全

など各種施策を推進してまいります。

パイヤについては、昨年、本市独自のつんだみブランドの第1弾として赤のティラミスの販売を開始しました。引き続き第2弾の「絶品島カレー」の開発を進めるなど、パイヤを活用したブランド戦略を推進するとともに、生産農家及び関係機関と連携し、特許技術の普及と生産量の拡大に努めてまいります。

環境保全型農業については、引き続き農業者や関係機関と一体となって耕土流出防止に努めるとともに、畜産部門との有機的連携を図るため整備中の堆肥センターを一部供用開始いたします。

また、宮良・白保地区農業集落排水施設の接続率向上に努めるとともに、大浜・磯辺地区についても、農業集落排水施設の整備を推進してまいります。

畜産については、消費者の食に対する安心・安全指向や生産農家の飼育技術向上及び和牛改良等により生産拡大が続いております。一方で原油高やバイオ燃料の需要増による飼料穀物の高騰など経営環境に変化が生じていることから、本市の粗飼料生産の有利性を活かした自給飼料の増産を支援するとともに、生産体制の充実や石垣牛ブランドの維持に努めるなど肉用牛拠点産地としての認定に向け取り組んでまいります。

林業については、森林資源の保全と利活用を推進するため、本年度も造林事業や病害虫防除事業を継続するほか、「市民の森」と位置づけている前勢岳一帯の適正管理を進めてまいります。

水産業については、資源量の減少傾向と就

業者の高齢化や相次ぐ台風の襲来により漁獲量が伸び悩む状況にあります。このため、沿岸漁場の生産力向上や亜熱帯海域の特色ある魚介類の養殖に取り組みなど資源管理型漁業の推進に努めてまいります。漁船漁業については、パイヤの設置やサメ駆除を支援するなど漁業資源の維持増大を図るほか、違法操業船対策についても関係機関と連携し推進してまいります。また、サブニグルズなど体験滞在型観光漁業の充実に支援してまいります。

養殖漁業については、国、県など水産研究機関の支援により、アールミーパイやモズク、海ブドウ等の生産が順調に進展していることから、今後とも量産化とブランド化を推進いたします。

併せて、八島町において、モズク加工・冷凍施設の整備を支援するなど、企業誘致による生産・加工・販売の連携を促進してまいります。

・漁港・漁場生産基盤については、本年度、登野城地区魚類養殖場の消波堤の嵩上げを行うなど養殖場の機能強化を進めるとともに、石垣漁港船揚場に漁船巻き上げ機を設置し、漁船の安全確保を図るほか、船越漁港整備事業の完了に努めてまいります。

商工業については、公設市場の利便性向上や商店街の振興に向けて関係機関と連携した取り組みを進めてまいりました。

本年度は、中心市街地活性化のための施策を位置づけた都市再生整備計画に基づき、中心市街地内の散策を楽しめるよう歩道を主に整備するほか蔵元跡地を公共空



として整備するなど、魅力ある空間創出と、まちなかの回遊性の向上に努めてまいります。

地場産業の振興については、地域資源を活用した伝統工芸品及び特産品の開発を促進するとともに、離島フェア等の物産展を通して販路の拡大を進めるほか、特産品認定制度等の活用により「いしがきブランド」の保護とPRに努めてまいります。併せて、小口融資制度等の融資制度を活用し、意欲のある中小企業の支援を進めてまいります。

一方、県内の雇用情勢は、依然として厳しく失業率は高率で推移していることから、IT関連の人材育成に取り組むなど、関係機関と連携し雇用の創出に努めてまいります。

観光・リゾート産業については、本市のリーディング産業として、農林水産業をはじめ関連産業との連携により、相乗効果を発揮する形で順調に発展しております。昨年の観光入域客数は、過去最高の78万3千人と好調に推移しており、今後とも積極的な誘客活動を推進するなど、快適さや癒しに満ちた観光立市にふさわしい観光地づくりを進めてまいります。

本年度は、自然環境や景観に配慮した持続的発展が可能な観光を推進するため、量から質への転換を検討するとともに、南の島の星まつり等の誘客事業の充実を図るほか、映画やテレビ番組の撮影を支援するなど、全国に石垣島の魅力を発信してまいります。

本年度は、新たに川平底地に国立公園休憩施設を整備するとともに唐人墓を改修いたします。



## 6. ふれあい 協働と交流、連携で活力あるまちづくりのために

地方分権が進むなか、これからのまちづくりは、市民皆様の声を市政に反映させることはもちろん、市民皆様の積極的な市政への参画、協働こそ何より重要です。主体的にまちづくりを担う対等のパートナーとして市民と市政との協働が求められており、本年度もその仕組みづくりに取り組んでまいりたいと思います。

引き続き、本市の自治の理念や基本原則などを盛り込んだ「自治基本条例」の制定に向け、市民との協働のもと取り組みを進めてまいります。

広報・広聴活動については、市民ニーズの把握と市政への反映に努めるとともに、広報紙やホームページの充実を図るほか地元メディア等の媒体を活用し積極的に市政情報を発信いたします。

地域コミュニティ活動の推進については、社会情勢の変化により、行政では対応困難な課題も増加しており、地域コミュニティには、地域社会における諸課題の解決や伝統行事の継承など地域を活性化する担い手としての役割が求められております。このため、助成事業などを活用した地域の支援に努めるとともに、より一層の連携強化を進めてまいります。



また、活力あるまちづくりの主体となるボランティア団体や企業など各種団体の地域づくり活動を支援するとともに、団体間の交流と連携を促進し、地域づくりの機運醸成に努めてまいります。

国際交流については、異なる文化や歴史の相互理解を通して友好を深めることが求められております。今後とも、姉妹都市である台湾宜蘭県蘇澳鎮並びに米国ハワイ州カウアイ郡との交流を促進するとともに、国際交流員を活用して市民向けの語学講座を実施するなど、国際性豊かな地域づくりに努めてまいります。

国内交流については、昨年、岡崎市や稚内市を訪問する市民ツアーを実施したほか、両市からも多くの市民の皆様が来訪するなど、市民相互の交流が進み、親善・友好の絆をさらに深めることができました。今後とも、ゆかりのまち上板町を含め多様な交流を促進してまいります。

次に平和行政について申し上げます。昨年は、歴史教科書の沖縄戦に関する記述への検定意見とその撤回を巡って、県内外で様々な議論がなされました。戦後60年余が経過し、沖縄戦の悲劇の実態が歪曲されようとする現実に強い憤りと不安を感じずにはいられません。私は、このような時代だからこそ「平和を考える作文」などを通して平和について考える機会を創出し、戦争を知らない世代に沖縄戦の悲劇と平和の尊さを伝えなければならぬと考えます。

また、先般の米兵による中学生拉致暴行事件は、在日米軍基地の過重負担が起こした犯罪であり、「綱紀粛正」では根絶できないことを示しました。少女の尊厳を守れな

ったことに対し、深い怒りと悲しみを共有するものであり、今こそ日米地位協定の抜本的な見直し、米軍基地の整理縮小と兵力削減を求めてまいります。

私たちは改めて今日の日本をあらしめているのは、不戦の誓いである憲法9条の崇高な精神であることを肝に銘じ、命どう宝を基調に設置20周年を迎える「世界平和の鐘」や「非核平和都市宣言」、「平和と港湾宣言」の理念普及に努めるほか、平和に対する市民意識の高揚を図り、核兵器廃絶と国際社会の恒久平和の実現に向け、弛むことなく平和行政を推進してまいります。

男女共同参画の推進については、多様な生き方のなかで男女が互いに尊重しあい、個性と能力を発揮することができるとして、社会を実現すべく、昨年、男女共同参画都市を宣言いたしました。

本年度は、本市における取り組みをより推進し、確固たるものとするため「男女共同参画推進条例」を制定するとともに、引き続き、第2次いしがきプランの周知や意識啓発に努めるほか、プランに基づく各事業の着実な実施に努めてまいります。

人権擁護については、互いの人権を尊重することが優しく住みよいまちづくりの基礎であるという認識のもと、関係機関団体との連携により、人権教育などの啓発活動を展開してまいります。

### 健全な行財政づくり

昨年の財政健全化法の成立により、地方公共団体は自らの財政状況について、新たに導入された財政指標に基づきそのストックと

フローを常に整理し、把握することが求められております。第2期地方分権改革が進むなか、制度や政策の変更・新設等が矢継ぎ早に実施される状況下においては、もはや三位一体の改革の影響でさえ、相当以前のものであったかのような錯覚さえ覚えます。

私はこうした状況にあっても、その受け皿である地方自治体の長として、自己決定と自己責任に基づく行政経営と、地方の実情にあわせた特色ある地域社会を創出していくことにいささかも臆することなくリーダーシップを発揮していく所存です。

このため、定員管理の適正化や民間委託推進などについて定めた集中改革プランを取り込んだ「第5次行政改革大綱」に基づき、事務事業の全般的な見直しを着実かつ集中的に実施するなど、限られた財源や人的資源をより効率的・効果的に活用し、地域に即した行財政システムへと変革してまいります。

指定管理者制度については、昨年より管理運営のモニタリングを実施するなど制度の円滑な運用に努めるほか、その他公の施設についても制度導入へ向けて検討してまいります。

行政評価については、事務事業評価の定着を図るべく取り組みを進めており、今後は、評価の客観性や透明性を高めるための外部評価についても視野に入れるなど、事務効率化や職員意識改革のツールとして活用してまいります。

自主財源の確保については、昨年、所得税から住民税への税源移譲が行われるなど、さらなる税収確保へ向けた取り組みが求められております。このことから、差し押さえた



財産をインターネットで公売する取り組みを本年より開始したほか、悪質な滞納者に対しては、法的手段を用いるなど滞納整理を強力に推進し、徴収率のさらなる向上に努めてまいります。併せて、本市への寄附金を有効に活用し、市民協働、参画の新たな事業展開の仕組みを模索すべく「まちづくり支援条例」の制定を検討してまいります。

また、市有地の有効利用と計画的な売り払いを推進するとともに、使用料や手数料の周期的な見直しを実施するなど受益と負担の適正化を進めるほか、昨年の広報紙への有料広告掲載に引き続き、市ホームページへのバナー広告を実施してまいります。

引き続き、入札や契約業務の適正化を推進するとともに、入札制度の改善に向けた調査・検討を進めてまいります。

分権時代に対応するためには、職員の資質向上が不可欠です。このため、人事制度の改革など「人材育成基本方針」に位置づけられた各種施策を推進し、職員の意識改革と資質の向上を図るとともに、個々の能力が十分発揮できる職場風土を確立し、市民の信頼と期待に応えられるよう努めてまいります。

また、職員の適正配置と職員総数の縮減に努めるなど、簡素で効率的な組織体制を構築するため、職員定数条例を改正するとともに、社会経済情勢の変化や各種課題に柔軟かつ迅速に対応できるよう適宜・適切に見直しを図ってまいります。

市民皆様には、地方自治が直面する課題や背景をご理解のうえ、本市の行財政改革にご協力をお願い申し上げます。

## 予算編成と予算規模

平成20年度の予算編成にあたっては、本市の厳しい財政事情を考慮するとともに、長期的な財政の健全性確保のため起債発行額についても極力抑制するよう留意し、歳出全般にわたる徹底的な見直しと積極的な自主財源の確保を前提に、限られた財源を重点的に配分するため、事業の優先度等を踏まえ、これまで以上に事業の取捨選択に検討を重ね、石垣市に活力を呼び込む予算とすべく取り組んでまいりました。

歳入では、市税及び地方交付税の主要財源を堅実に見込むとともに、歳出では、社会保障関係費の増加傾向を踏まえ、人件費や公債費の抑制を図るなど、収支の均衡に努めました。

また、公的資金繰上償還制度を活用し、将来負担の軽減と財政指標の改善に向け繰上償還を実施いたします。

以上の方針に基づき編成した平成20年度予算は、一般会計が総額191億5,500万円で前年比1.8%の減、特別会計は総額140億9,942万1千円で0%の減となっております。

## むすび

以上、新年度のまちづくりに臨む私の所信の一端と、主な施策の概要について、ご説明させていただきました。

今日の石垣市には、ふるさとの発展を願ひ、多くの偉大な先人がひとつの目標を共有しながら、後世のために多くのご苦勞を重ね

られ、大きな困難と荒波を乗り越えて新たな時代を切り拓いてきた航跡があります。日々変化する時代潮流にあつて私は、その航跡を見誤ることなく、市民皆様のご理解、ご協力はもとよりふるさとを想う熱い心と叡智、それを羅針盤として新たな航海にのりだしてまいります。

これからの道のりは決して平坦なものではありません。「国から地方へ」という大きな流れのなか、我々地方行政に携わるものに課せられた責務をどう果たしていくか、また限られた財源のなかで自治体経営をどう進めていくか、一段と厳しい行財政運営になることが見込まれます。

本市においても少子高齢化に伴う社会保障費や公共施設の建て替え需要の増加など、今後ますます厳しい財政運営を強いられることが予測されます。こうしたなかにあつても、本市の将来像を実現するため財政健全化と徹底した行政改革を進め、経営の視点を加味した無駄のない行政運営に徹し、なお一層の創意と工夫を凝らして時代に即した施策を展開し、選択と集中によつて、さらなる市民サービスの向上に努めることが求められております。

今年度も石垣市が元気で魅力ある地方拠点都市となるよう、また市民皆様から「石垣市民で良かった」と言っていただけのように、全ての市民が愛着をもてるまち、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりをめざして取り組んでまいります。

市民皆様、議員各位のより一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、説明を結びます。



市長のおはようロマンメッセージ

千葉ロッテ 再び覇者へ  
～石垣島春季キャンプの成果～

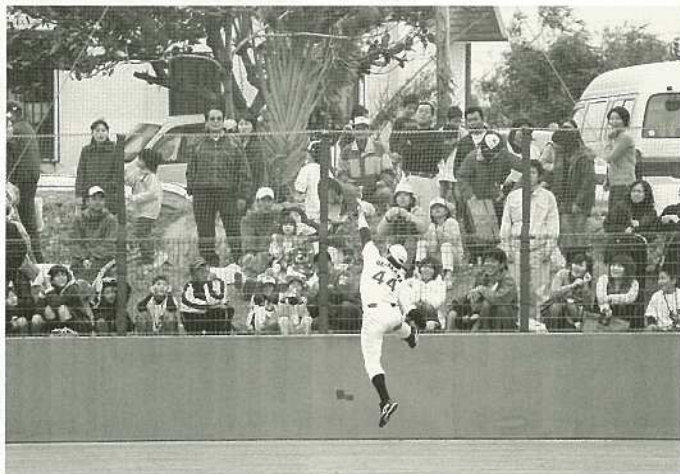
三月となり、岡山から桃の花が届き、市内でも桜が咲き、三高校生が卒業式を迎え、新たな出発となる春の到来です。前途ある若人がそれぞれの夢を追って活躍されることを念願しています。

さて、キャンプを終了し、日本一を目指して石垣島から旅立った千葉ロッテマリーンズに多くの市民、ボランティアの方々から支援をいただきました。ご協力に對し心から感謝申し上げます。千葉ロッテは、キャンプ終了後もオープン戦で最高勝率を出しています。バレンタイン監督は石垣島キャンプが成功したと述べています。

やはり八重山商工が甲子園で春夏と素晴らしい試合を見せてくれたこと。そして、大嶺祐太選手が千葉ロッテにドラフト1位指名を得たことなどよい条件が重なったことでした。元をただせば伊志嶺吉盛監督の登場が大きな意味を持つわけですが、伊志嶺監督も先般琉球新報社の社会活動賞で表彰され祝福を受けました。大嶺選手がもし他のチームに指名された場合には成り行きが変わったでしょう。ロッテ球団が石垣島に注目していたことも事実です。いろいろな形で石垣島に千葉ロッテを引きつける力があつたと思います。野球の盛んな風土、商工高校のように爽やかなチームの存在、優れた選手が誕生してきた。市民も千葉ロッテをぜひ呼びたいと運動が起き、行政と市民が協力して協力会を立ち上げ、短期間でキャンプを迎え、順調に終わることができました。

いしがきブルースタジアムは緊急に改修し、工事面での不備も心配されましたが、多くの情報を得て専門的に処理し、間に合わせる事ができました。球団や専門家の意見等も取り上げ、支障なく終えたと思います。バレンタイン監督も小雨で始まり、小雨で終わったが、雨のために思いどおり練習ができた

が、短期間でキャンプを迎え、順調に終わることができました。いしがきブルースタジアムは緊急に改修し、工事面での不備も心配されましたが、多くの情報を得て専門的に処理し、間に合わせる事ができました。球団や専門家の意見等も取り上げ、支障なく終えたと思います。バレンタイン監督も小雨で始まり、小雨で終わったが、雨のために思いどおり練習ができた



ロッテマリーンズ紅白戦で早川大輔選手の超美技に歓声を上げる外野席の市民(2月11日いしがきブルースタジアム)

かったのは一日だけだったと話していただきました。結果としてオープン戦で順調に仕上がったチーム状況を見ることが出来ます。心強いことに瀬戸山球団社長から来年もぜひお伺いしますという約束をもらいました。また、今回のチームは非常にやる気がある。情熱がある。優勝へ向かって元気にスタートを切ったと話していただきました。

千葉ロッテは、05年にパリーグ、日本シリーズ、アジアシリーズで優勝という3つのチ

ャンピオンシップをとっています。ちようどバレンタイン監督が二度目の指揮官としてニューヨークメッツから招致され、翌年にはチームを3つの優勝へと導いたのです。監督は明るい誠実な方で、外国人特有のユーモアがある人格者、そして偉大な方です。千葉ロッテはキャンプで逞しく成長し、大嶺投手や母親が登野城出身の新里健選手も含め地元ファンは注目していくでしょう。

千葉ロッテキャンプは多くの市民に熱烈歓迎していただきました。その歓迎にロッテ球団も非常に感動したようです。島の人たちはとても温かい、心から応援をしてくれたと評価を頂きました。子どもたちに野球を教え、様々な市民との触れあいを得ることができました。バレンタイン監督は滞在中は、私たちは石垣市民の一人であると話していました。地域づくりに参加していくと意思表示している球団です。球団は、まさに大きな激励を、子ども達に夢と希望を与えました。まちは賑やかに、華やかな雰囲気を出し、大勢のマスコミも来島し島の良さを広く紹介してもらいました。まちづくりは人づくり、これは行政の大きな使命です。このまちをどう育てるかという事は、今日の子ども達を含めて青少年の育成に島の将来がかかっているということです。今回、石垣市の歴史に残る一つの大きなイベントをみんなで成功させたことは市民に大きな自信を与えたことでしょう。

これからリーグの百三十試合余りで千葉ロッテは多くの勝利を得て優勝フラッグを奪還し、石垣島で市民とともにパレードすることが叶うことを強く望みます。来年のキャンプは一層盛り上がった対応をする中で、市民とともにマリーンズの選手たちを温かく迎えることができたと思います。

(3月5日放送のおはようロマンメッセージの要旨から)



## 男女共同参画推進条例制定へ

男女共同参画推進条例(仮称)の制定を目指して石垣市は男女共同参画会議を発足させました。

3月6日に行われた第1回会議では20人の委員へ委嘱状が交付され、会長に仲吉八重さんを選出しました。会議で黒島健石垣市副市長は「条例案を年内に仕上げる作業に皆さんの意見を出し合ってほしい」と挨拶しました。同会議は、条例案の諮問を受け、市長へ答申する内容などを協議します。委員は次の通り(敬称略)

▽会長 仲吉八重▽副会長 宮良和子▽委員 桃原由紀子 生盛智子 當山房子 小底弘子 増田一枝 唐真祐子 平良秀之 川本正樹 金城綾子 今井由美子 加藤伴子 慶田盛安 三潮平 俊 真栄城悦子 具志堅多恵子 池城安則 新田幸市 松島昭司



ピックアップ



収蔵資料が保管されており一般に公開されています。

市立八重山博物館の開館三十五周年記念式典が二月二十日に行われました。これまで同館に寄贈や寄託などを行った百二名の個人や団体へ対して感謝状が贈られました。同館には現在、一万四千七十点の

## 博物館35周年式典



団体が日頃の意欲に満ちた活動成果を発表していました。

市教育委員会主催による生涯学習フェスティバルが二月二四日に行われました。「まなびづくり、人づくり」などをテーマにした同イベントには舞台発表、展示発表など三十

## 生涯学習フェスティバル



三月四日のサンシンの日にちなみ八島小学校体育館で「サンシン大合奏会」が賑やかに行われました。会場にはサンシン愛好家三百名余りが集い、本調子や二揚による八重山民謡の合奏を披露しました。

## サンシン大合奏



かまぼこの商標登録は小田原かまぼこに次いで全国二番

八重山観光振興協同組合(東郷清龍理事長)はこのほど、特許庁から八重山かまぼこの「地域団体商標(地域ブランド商標)」を取得、大濱長照石垣市長へ報告しました。これにより他地域の業者などによる新規参入などが規制される。

## ブランド八重山かまぼこ

## 赤土防止ポスター・標語 力作ぞろいの入賞作品

【小学生高学年の部】

優秀賞 仲本奈央(八島小5年)

「赤土から 海を守って 未来へつなげる 美ら島の心」

佳作 古荘由夏(宮良小6年)

「染まる海 このままほっときゃ はい、で〜じ!

力を合わせて グリーンベルト」

【中学生の部】

優秀賞 前盛真理恵(崎枝中3年)

「みんなで止めよう赤土を! みんなで守ろう、青い海!」

佳作 崎山拓真(石垣第二中2年)

「止めよう 赤土流出 受け継ごう きれいなウチナーの海」



中学生の部優秀賞 阿利麻美(石垣第二中2年)



中学生の部佳作 山城直香(伏波中2年)

小学生高学年の部優秀賞 箕田きりん(崎枝小4年)



## トピックス

### 消防伊原間出張所に 救急搬送車



石垣市消防署伊原間出張所にこのほど救急搬送車が寄贈され、3月 日受納式が行われました。

救急車を寄贈したのはアステラス製薬株式会社(野木森雅郁社長)で、社会貢献活動の一環として全国各地に救急車を寄贈しています。

受納式では大濱長照石垣市長へ同社からゴールドキーが贈られました。

大濱市長は「石垣市の救急設備の充実が図られた。市民の安心安全な生活に役立てたい」と感謝の意を述べました。

### 石垣市が台風被害へ災害義援金支給

石垣市は、昨年と一昨年の台風襲来により被害を受けた漁業者へこのほど、災害義援金を支給しました。黒島健石垣市副市長から義援金を受けたのは、上原宏明さん(登野城)と島袋健二さん(新栄町)です。上原さんは一昨年の台風13号で、島袋さんは昨年の台風12号により所有する漁船が沈没する被害を受けました。石垣市が設置した台風による義援金配分委員会による決定を受け、今回配分金が支給されました。



### 石油製品は本島並みの価格ですか？

沖縄県では、復帰特別措置によりガソリンに係る税金が1ℓ当たり7円軽減されています。また、ガソリン1ℓあたり1.5円を県税(石油価格調整税)として徴収し、その税収を財源に「石油製品輸送等補助事業」を行っています。この事業は離島における石油製品の本島並みの価格の安定と円滑な供給を目的としています。この補助制度により、離島での石油製品の小売価格には主な輸送コストは含まれていません。あなたの島の石油製品は適正な価格ですか。

**あなたの島の石油製品は本島並みの価格ですか？**



【問合せ】  
沖縄県企画部地域離島課  
☎(098)-866-2370

### 土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について

地方税法第416条第1項の規定により、平成20年度固定資産税の土地価格等縦覧帳簿及び家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について、次のとおり関係者に供します。

【縦覧期間】平成20年4月1日(火)～4月30日(水)  
(土・日曜・祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分まで

【関係者】石垣市内に土地・家屋を有する納税者、納税管理人またはその代理人

【持参するもの】

- ◆納税者は印鑑及び本人等を確認できる書類
- ◆納税者以外は納税者の委任状及び申請者の印鑑を持参して下さい。

【縦覧場所・問合せ】 石垣市役所税務課  
窓口11番 ☎83-1133

### 危険物取扱者試験のお知らせ

試験日時 平成20年5月25日(日) 午前10時開始  
試験の種類 甲種、乙種(第1～6類)、丙種  
試験会場 八重山農林高等学校  
受験願書受付 平成20年4月11日(金)～4月18日(金)  
受験案内配布先 石垣市消防本部 八重山支庁総務観光振興課、消防試験研究センター  
受験受付方法 受験願書を消防試験研究センターへ郵送又は直接窓口へ持参  
お問合せ先 (財)消防試験研究センター沖縄県支部  
〒900-0025 那覇市壺川3-2-6 壺川ビル2階 電話098-855-7101  
ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp>



より多くの農業者に知っていただきたい

# 未来の自分のための農業者年金

農業者の皆さん  
老後生活の備えは  
十分ですか？



65歳の農業者の方の平均余命は  
男性19年（84歳）、女性24年（89歳）

老後はお金の心配をせずに暮らしたいものです。その間  
予測不可能な経済変動があり、思わぬケガや病気もあります。

こんなにかかる老後生活  
（年額317万円（現金支出272万円））

高齢農家世帯（世帯主が65歳以上の夫婦2人）の家計費  
は月額26万4千円です。（平成15年農林水産省農業経営動向統計）

国民年金の支給額（年額158万円）

農業者の皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年  
加入で月額約6万6千円、夫婦あわせて月額約13万2千円です。

このように国民年金だけでは十分とはいえ、老後の生活費は  
自分で準備する必要があります。

サラリーマンは国民年金（基礎年金）の上乗せ年金として厚生  
年金や共済年金を受け取っています。

農業者の皆様もメリットがたくさんある農業者年金に加入してサラリーマン並みの年金を  
受け取りましょう。



## 農業者年金の特徴



- 農業に従事されている方は誰でも加入できます。
- 少子高齢化時代に強い年金です。過去4年間の通算利回りは年平均5.44%。
- 80歳までの保証付きの終身年金です。
- 税の特例が用意されています。
- 認定農業者などの担い手の皆様は、保険料の国庫補助が受けられます。

【お問合せ】石垣市農業委員会 ☎82-1563

## 妊婦一般健康診査の公費負担が

平成20年4月1日から

# 2回から5回に変わります！

※窓口自己負担額 1回につき2,000円かかります。



石垣市では、安心して安全な出産と、健康な子の出生のため、また、経済的負担の軽減の  
ために行なっている妊婦一般健康診査を、平成20年4月1日から、現行の2回から5回  
に拡大します。（自己負担額は、現行2回とも無しから1回につき2,000円となります。

妊婦一般健康診査の助成拡大の対象の方は、平成20年4月1日以降に出産予定の妊婦  
の方です。すでに母子手帳の交付を受けた方で、予定日が該当する方も対象となります。

平成20年4月1日以降に、妊婦一般健康診査を病院等で受診される予定の方で、受診  
票をお持ちでない方は、健康福祉センターにて受診票の交付を受けてください。

問い合わせ先：石垣市 保健福祉部 健康福祉センター 健康づくり係  
TEL (0980) 88-0088 担当：野崎・向井



お知らせ

石垣市職員の勤務時間が変わります

石垣市では、石垣市職員の勤務時間に関する条例の改正により、4月1日から本庁舎、健康福祉センター、教育委員会事務局庁舎、港湾課庁舎、水道部庁舎等で勤務する職員の勤務時間が午前八時三〇分から午後五時十五分となります。

※保育所、図書館、博物館等は、従来どおりの勤務時間となります。

C型肝炎は、早期発見・早期治療が重要です

C型肝炎ウイルス検査で平成6年以前にフィブリノゲン製剤の投与を受けた方等は、肝炎ウイルスに感染している可能性が一般の方よりも高いと考えられますので、C型肝炎ウイルス検査を受けられることをお勧めしています。

※輸血などに用いる血液製剤は、様々な安全対策がとられてきており、感染症伝播のリスクを完全に排除できないものの、近年の製剤の安全性は格段に向上しております。

八重山福祉保健所では、相談窓口を設け検査も行っております。

【相談窓口】八重山福祉保健所

☎八二一三二四〇

【問合せ】石垣市健康福祉センター

☎八八〇〇八八

石垣市奨学生の募集

【応募資格】

石垣市に住所を有する者の子弟であつて、高等専門学校、専門学校及び大学等に在学し、修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者。

【採用人員】

若干名（高等専門学校、専修学校、短期大学、大学、大学院含む）

【受付期間】

平成二〇年四月十日（木）～四月二十五日（金）

【問い合わせ】

石垣市教育委員会総務課

☎82-2604 企画調整係

沖縄県国際交流・人材育成財団 貸与奨学生の募集

【応募資格】

日本国籍を有し、沖縄県内に本籍又は住所を有する者の子弟で、現在国内の高等専門学校、専修学校、大学、大学院に在学している者（沖縄県出身海外移住者子弟貸与奨学生については、沖縄県出身海外移住者の子弟で、主たる住所を海外に有し、沖縄県内の大学又は大学院に在学する者）であつて、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であり経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者。

【採用人員】

高等専門学校

専修学校

大学

三人程度

十六人程度

百六十人程度

大学院 十人程度

沖縄県出身海外移住者子弟 若干名

【受付期間】

平成二〇年三月十日（月）～四月十六日（木）

（※郵送の場合も四月十六日必着）

【問合せ】

（財）沖縄県国際交流・人材育成財団

電話（098）194116744

FAX（098）194116811

URL: <http://www.oiaf.or.jp/>

※募集要項は石垣市教育委員会にもあります。

※他の奨学金制度との併用はできません。

沖縄県国際交流・人材育成財団 基地内大学就学者募集

【応募資格】

日本国籍を有し、通学可能な範囲内に居住する者に限ります。また、平成二〇年四月一日現在まで引き続き一年以上沖縄県内に居住している者、またはその子弟（高卒者、高卒同等以上の学力の認められる者、高卒程度認定試験に合格した者、大学院応募者は学士号取得者などの資格条件有り）。

【採用人員】

募集人員は、短期大学、大学、大学院及びブリッジプログラムを含む六大学の七十人程度。

【受付期間】

平成二〇年三月十七日（月）～四月十五日（火）

（※郵送の場合も四月十五日必着）

【問合せ】

（財）沖縄県国際交流・人材育成財団

電話（098）194116771

※要項、申請書等は左記ホームページよりダウンロードできます。

URL: <http://www.oiaf.or.jp/>

浄化槽の保守点検と清掃は法律で義務づけられています

～郷土の環境整備に奉仕する～

水質管理サービス有限公司

代表取締役 我喜屋 隆

〒907-0003 沖縄県石垣市平得229-1  
TEL (0980) 83-0555 FAX (0980) 83-6013

複写機・輪転機・FAX・パソコン・測量機器（販売修理）・学校教材事務用品・事務備品・金庫・電子納品/入札・導入コンサルティング業務  
文具・オフィス環境調査業務・オフィス施工工事・セキュリティ業務

崎浜事務機株式会社

〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町2丁目1番地の25  
TEL (0980) 82-3828代・FAX (0980) 83-1876  
URL: <http://www.is-s.co.jp> E-mail: [sakihama@is-s.co.jp](mailto:sakihama@is-s.co.jp)



# 市民カレンダー 4/1~4/30

※下記の日程は、予定です。詳しくは関係課までお問合せください。(石垣市☎82-9911)

4/1 (火)	●新年度スタート ●多重債務者相談(市役所)	4/16 (水)	●法律相談(市役所) ●両親学級第3課・MR予防接種(健康福祉セター)
4/2 (水)	●法律相談・行政相談(市役所) ●両親学級(健康福祉セター)	4/17 (木)	●MR予防接種(健康福祉セター)
4/3 (木)	●9~10ヶ月児健診、3歳児健診(健康福祉セター)	4/18 (金)	
4/4 (金)		4/19 (土)	●絵本の読み聞かせ(図書館) ●9~10ヶ月児健診、3歳児健診(健康福祉セター)
4/5 (土)	●絵本の読み聞かせ(図書館)	4/20 (日)	
4/6 (日)		4/21 (月)	
4/7 (月)		4/22 (火)	●多重債務者相談(市役所)
4/8 (火)	●多重債務者相談(市役所) ●離乳食実習(健康福祉セター)	4/23 (水)	●法律相談(市役所) ●両親学級(健康福祉セター)
4/9 (水)	●法律相談(市役所) ●両親学級第2課(健康福祉セター)	4/24 (木)	●1歳6ヶ月健診、3歳児健診(健康福祉セター)
4/10 (木)	●人権相談(市役所) ●2歳児歯科指導(健康福祉セター)	4/25 (金)	●遠隔地乳幼児相談(川平保健指導所)
4/11 (金)	●遠隔地乳幼児相談(川平保健指導所)	4/26 (土)	●絵本の読み聞かせ(図書館)
4/12 (土)	●絵本の読み聞かせ(図書館)	4/27 (日)	
4/13 (日)	●BGTライアスロンワールドカップ石垣島大会 ●第21回石垣島トライアスロン大会	4/28 (月)	
4/14 (月)	●BCG予防接種(健康福祉セター)	4/29 (火)	昭和の日
4/15 (火)	●多重債務者相談(市役所) ●妊産婦・乳幼児保健相談(健康福祉セター)	4/30 (水)	●法律相談(市役所)

## 住民登録をしてください

住民基本台帳法第22条では、「転入をしたものは、転入をした日から14日以内に(省略)市町村長に届け出なければならない。」とあり、また、同法第55条第2項には「正当な理由が無くて、転入届・転居届・転出届又は世帯変更届の規定による届出をしない者は5万円以下の過料に処する」との罰則があります。居届・転出届及び世帯変更届等の住民登録により作成された住民基本台帳は住民に関するあらゆる行政の基礎として利用されています。



(住民登録をしていないと思われる方について)

- ①短期就労として雇用したが、1年以上就労していても住民登録していない場合。
- ②石垣市に単身赴任として企業等で働いている職員で住民登録していない場合。

また、石垣市に住民登録をしていない方は住民登録をしてくださいようお願いします。

【お問合せ】石垣市市民生活課 ☎82-1260 (直通)

**大好評 美ら花スタンプラリー**

**商品券 ゲット!**

南の美ら花

ホテルレストラン・ひるぎ・月桃庵・さつき  
三和トラベル本店・JA旅行センター

美ら花友の会事務局 〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町4-9 ☎0980(82)1139

営業種目 ●アスベスト除去工事 ●建築一式 ●土木一式  
●家屋解体工事 ●建築基礎掘工事 ●畑・天地替え

**株式会社 八島建設**

代表取締役 仲 座 長 市

〒907-0023 沖縄県石垣市字石垣154番地  
電話 (0980) 83-8481